

南魚沼版 CCRC 構想に係るマーケティング及び経済効果検討に関する調査

1. 首都圏居住者に対するアンケート調査

(1) 目的

南魚沼版 CCRC の主たるターゲットとなる首都圏住民に対して南魚沼版 CCRC の概要を示した上で、インサイト（考え方／価値観／具体的ニーズ）を探ることにより、今後のマーケティングや施設計画への反映等、事業推進のための基礎資料とする。

(2) 対象者

首都圏居住者で、50～64 歳の男女 10,000 人

なお、このうち一定数は地方移住に関心のある層を含むものとする

<対象者の条件>

- 現在の年齢が 50～64 歳である。
- 現在の居住地が、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の内いずれかである。
- セカンドライフを過ごすにあたって、地方への暮らしに関心がある。

（比較分析のためにも地方移住に関心がない人も一定程度対象に含む）

<割り付け条件>

- 可能な限り 50～54 歳、55～59 歳、60～64 歳の男女の数が均等になるように回収する

<目標回数数> 10,000 サンプル

(3) 聴取内容

<回答者の属性情報>

※年齢、性別、現在の居住地は事前調査で把握する

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ① 出身地 | ⑦ 今後の就業意向 |
| ② 南魚沼市へのゆかりの有無 | ⑧ 現在の健康状態 |
| ③ 同居家族／世帯主かどうか | ⑨ 今の楽しみ（趣味、休日の過ごし方など） |
| ④ 家の種別（持家・賃貸、戸建・マンション） | ⑩ 定年後に楽しみたいこと・お金をかけたいこと |
| ⑤ 退職の有無 | ⑪ 地域や社会に対する関心の度合い |
| ⑥ 現在の職業（働いている方） | ⑫ 地方移住に対する関心の度合い |

<南魚沼市版 CCRC に対する期待・ニーズ>

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 移住後どんなライフスタイルを送りたいか | ⑤ お試し居住などへの参画意向 |
| ② 誰と移住するか（単身、配偶者…） | ⑥ 南魚沼市ではどんな場所に住みたいか |
| ③ 移住を実現するにあたっての課題・不安 | ⑦ 南魚沼市ではどんな生活サービスが必要か |
| ④ 南魚沼市 HP に対する印象評価 | |

(4) 分析のイメージ

具体的な移住プログラムについて検討を進めているので、一般的な「移住意向アンケート」というよりは、商品マーケティングのようなイメージで調査・分析を行う。

<分析のアウトプットイメージ>

- ・居住地や移住後のライフスタイルへのニーズを分析する。
- ・回答者の属性によるクロス分析を行い、移住ターゲットの像を分析する。

2. 首都圏居住者に対するグループインタビュー

(1) 目的

南魚沼版 CCRC への居住候補者のインサイト（考え方／価値観）を探ることにより、今後のマーケティングやプロモーション施策の指針とする。

(2) 対象者

<対象者の条件>

アンケート調査の回答結果をもとに、有望な対象者を抽出する

例) 地方移住への関心が高い、雪のある地域での暮らしに抵抗が少ない など

<インタビュー対象グループ> ※アンケート調査の結果を見て設定

- 単身世帯グループ：男性 3 名／女性 3 名
- 夫婦同居グループ（男性）：男性 6 名
- 夫婦同居グループ（女性）：女性 6 名

(3) グループインタビューの流れ ※実施は都内を想定

- ① 自己紹介／趣味など
- ② 老後への不安や心配事は何か
 - ・ お金
 - ・ 健康／病気
 - ・ 住まい など
- ③ これから 10 年～20 年を踏まえてどんな生活をしたいか／理想的な生活は何か
- ④ 理想的な生活をするためには何が必要だと思うか
- ⑤ 理想的な生活が首都圏で実現できるか
- ⑥ 地方移住に興味はあるか／その理由は何か
- ⑦ 地方移住への期待と不安それぞれ何か
- ⑧ 「CCRC」という言葉を聞いたことがあるか／興味はあるか
- ⑨ 南魚沼版 CCRC について、率直にどう感じたか
- ⑩ 南魚沼版 CCRC へ住んでみたいと思うか／その理由は何か

3. CCRC 導入による医療・介護負担及び経済波及効果のシミュレーション

南魚沼版 CCRC が実現し、首都圏に居住する 50～60 歳代のアクティブシニアの移住を受け入れた場合において、将来的に想定される医療・介護の財政負担や、期待される経済波及効果などを、県及び市単位（※）でシミュレーションするとともに、結果について分析する。

※：市単位でのシミュレーションが実施可能であるかどうかは、産業関連表等の統計データの整備状況に依存する。

- ① 医療・介護負担シミュレーション
- ② 経済波及効果シミュレーション
- ③ 結果の考察

4. アンケート調査及びグループインタビューの実施スケジュール（案）

グループインタビューの実施から逆算して、以下のスケジュールを進める。

<アンケート調査>

- ・2月5日 アンケート調査票確定
- ・2月8～10日 アンケート調査 WEB 画面の設計・確認
- ・2月12日 アンケート調査配布開始
- 2月14日 アンケート調査配布終了
- ・2月17日 グループインタビューへの参加意向調査実施

<グループインタビュー実施候補日>

- ・2月27日（土）
- ・2月28日（日）
- ・3月5日（土）
- ・3月6日（日）

以上